

【大府市発達支援センターおひさま 支援プログラム】

作成年月日:令和6年12月16日

◆理念:私たちは、誰もが人間としての尊厳が保たれ、安心して共に生きる社会をめざします

- 1、私たちは、誰もが、まず「人として」受けとめられ、地域の中で自分らしく暮らすための支援サービスを提供します。
- 2、私たちは、誰もが、必要なときに、必要なサービスを利用できるように取り組みます。
- 3、私たちは、誰もが、安心して暮らすために、地域の輪の中で、「共に生きる」実践と運動を進めます。

「人として」とは、

障がいの有無にかかわらず、誰と取り換えることのできないかけがえのない存在として認め、その人の尊厳を守るという人間としての基本的な考え方である。

「共に生きる」とは、

支援を必要とするものと支援を提供するものが、互いの生と価値を認め合い、活かしあいながら社会的な営みを行う人間としての基本的な考え方である。

◆基本方針:私たちは、日々の療育を通して

- 1、子ども達が安心して成長・発達をし、将来、自分らしく自律した生活ができる力をつけていく支援をします。
- 2、家族が子どもと向き合い、主体的な子育てができるように支援をします。

◆療育方針:

- 1、基本的な生活習慣の自立を目指します。
- 2、コミュニケーションの基礎づくりをします。
- 3、分かりやすい環境の中で、集団生活ができることを大切にします。
- 4、子どもが主体的に動くことを大切にします。
- 5、家族の思いを大切にし、子どもの成長・発達を一緒に考えていきます。

◆標準的な提供時間:

親子通園クラス 9時50分～13時

単独通園クラス 9時50分～14時50分（水のみ:9時50分～13時）

◆送迎実施:通園バスあり(但し、利用についての条件あり)

家族支援	<p>○子どもの姿や気持ちを一緒に捉えます。</p> <p>○子育ての負担感や困り感、きょうだいとの過ごし方などについて、一緒に考えて整理します。</p>
移行支援	<p>○進路についての情報を提示して一緒に考えます。</p> <p>○進路に向けての不安や心配を共有し、一緒に考えます。</p>
地域支援・地域連携	<p>○子育て支援・就園・就学に関する機関や医療機関との連携を図ります。</p> <p>○中核機能として、児童発達支援事業所と放課後等デイサービス事業所との連絡会や研修会を開催します。</p>
職員の質の向上	<p>○園内研修の実施や園外研修への参加、その後伝達研修や報告による共有を行い、質の向上に繋がめます。</p>
主な行事など	<p>春：入園・進級式、散歩、春の遠足など</p> <p>夏：父子参観、夏まつり、水遊びなど</p> <p>秋：祖父母参観、運動会、秋の遠足、父子参観、いちご動物園など</p> <p>冬：クリスマス会、もちつき会、総合避難訓練、豆まき会、お別れ会、卒園・修了式など</p>